

令和7年度

大井川の源流部を学ぶ視察会 実績報告

視察日 令和7年11月28日（金）



大井川の清流を守る研究協議会

【日程】

期日	場所	時間	行程及び説明内容
11 月 28 日 (金)	JR 島田駅南口	8 : 40	集合
	JR 島田駅南口	8 : 40～8 : 45	研修会の概要説明、視察資料の配布
	川口発電所	9 : 10～9 : 50	発電所外構部の見学
	川根温泉	10 : 00～10 : 10	トイレ休憩
	笹間川ダム	10 : 20～10 : 30	ダム周辺の見学
	塩郷堰堤	10 : 40～11 : 10	堰堤周辺の見学
	長尾川水路橋	11 : 20～11 : 35	周辺の見学
	昼食	12 : 00～12 : 50	川根本町文化会館
	牛の頸	13 : 00～13 : 20	周辺の見学
	大井川ダム 奥泉発電所	13 : 30～14 : 20	ダム周辺及び発電所内部の見学
	資料館やまびこ	14 : 30～15 : 00	資料館内の見学
	長島ダム周辺	15 : 10～15 : 30	ダムの外構部や堤体の見学
	川根温泉	16 : 10～16 : 20	トイレ休憩
JR 島田駅南口	17 : 00	解散	

【参加者】

一般参加者 17 人

(島田市 7 人、藤枝市 5 人、焼津市 3 人、菊川市 1 人、掛川市 1 人)

講師 1 人、事務局 3 人

川口発電所



笹間川ダム



塩郷堰堤



奥泉発電所・大井川ダム



長尾川水路橋



長島ダム



R7「大井川の中流域を学ぶ視察会」に関する意見・感想について

○参加者数：17人（内回答者数：14人）

○視察会開催について、どのような形で情報を得ましたか。

- ・新聞掲載 13人
- ・ホームページ 1人
- ・友人等からの紹介 0人

○今回の視察の前から、大井川の現状について知っていましたか。

- ・知っていた 10人
- ・知らなかった 4人
- ・関心がなかった 0人

○今回、大井川の現状を視察して、どんなことを感じましたか。

- ・こんなに多くダムや堰堤があつて、それぞれの役目が大切だと思いました。

（島田市）

- ・大井川の大自然は素晴らしいですが、川に水が少ししか流れておらず残念でした。水力発電所は必要ですが、もう少し環境に配慮しても良いと思います（藤枝市）
- ・農業、工業用水、飲み水などに広く使われているが取水量があまりにも多く、本流の流量が少なく河原砂漠の現状は続いていると思います。鮎の数（遡上量、放流量）は激減してしまい、放流しても河川環境が悪く生育できず、動植物の生育環境はさらに悪くなっているように感じました。（掛川市）
- ・大井川に水が少ないと感じました。発電所までの導水管の大きさに驚きました。その工事を考えると大変さが伝わってきました。リニアの工事で水はなくなるとJRは説明しているが、心配に感じています。（島田市）
- ・川が地域の暮らしを支える一方で、環境変化や水量管理の困難さなど多くの課題を抱えていることを実感しました。現地で得た知見を今後の自分の考えに反映して意見として出したい。流域全体で持続可能な川づくりを進める必要性を強く感じました。（焼津市）
- ・土砂が多く、河としての機能が不足しており、大雨の時は不安だと思う。（藤枝市）
- ・今回の視察において、中流域の現状の一端を知り驚いた。有効な水の活用を図るため、目に見えない工事構造を知りました。ただし一方で、中下流域の本流枯渇の原因でもあり、生物の多様性が損なわれているものと思われます。（藤枝市）
- ・先人達の知恵により、大井川の水は、材木を運ぶ、電気を作る、農工業用水や飲料水など多方面に利用されており、改めて地域にとって大切な財産であることを確認し、守るべきと思いました。（島田市）

○これから行政や流域住民はどんなことをやっていったら良いと考えますか。

- ・電気がこれからますます必要になって来るので、水資源が大切だと思います。水に代わって太陽や地熱の利用を国全体で考えてもいいと思います。(島田市)
- ・流域の住民は水の尊さを良く知り「蛇口をひねれば水が出るのが当たり前」の思いを改めて感謝して使いたいと思います。台所の水を大切に使う、雨水を貯めて畑や花壇などの散水に使うなどに取り組む(焼津市)
- ・本流の流量をもっと増やしていけるよう、国交省、電源会社に要望する必要があると思います。動植物の生育環境、状態をしっかりと調査し、会社などの排水がどのような状態なのか含め、公表すべきだと思います。(掛川市)
- ・予測が難しくなっている降雨パターン、渇水と豪雨の極端化など、気候変動が大井川の流況に影響している現実を考えて、治水、水資源管理はこれまで以上に長期的な視点が求められる。「安全、生活用水、工業用水等」と「自然環境維持」の両立を考える必要がある。(焼津市)
- ・河の現状をホームページなどで発信して、河の再生のための寄付金を求める。応援してくれた人々を町へ招待し、観光にも繋げる。(藤枝市)
- ・下流域としては、大井川の水を制御していることにより、洪水の不安は解消されてありがたいですが、水返せ運動を知ると上流域と下流域のそれぞれの考えが違ってくるようになりました。今後も不公平が少なくなるような水利用が必要だと思います。(焼津市)
- ・農業、工業などが盛んな下流域の方々にも大井川の水の大切さを知ってもらいたいと思いました。(島田市)

○その他

- ・大井川にはまだ気が付かない「宝物」が眠っているように思います。その宝物をいかに見つけ出すか、まずは国内外の多彩な人に現地に来てもらうのが何よりだと思います。(藤枝市)
- ・大井川を利用している地元住民の不安、水利関係者の負担、環境保護団体の活動等色々な視点から大井川を見つめなおすことが大切だと思います。(焼津市)
- ・視察会の開催日を平日だけでなく、現役世代が参加できるようにした方が良いと思います。(藤枝市)
- ・過去の洪水では最下流の大井川町は大変な被害だったと知りました。大井川のことを知らない若い世代に過去の人達の苦勞を伝えていきたいと考えています。(焼津市)